

外 国 語

1年	英語コミュニケーションⅠ
1年	論理・表現Ⅰ
1年	higashino special(HEIM&HEOM)
2年	英語コミュニケーションⅡ
2年	英語演習
2年	論理・表現Ⅱ
2年	higashino special(HEIM&HFOM)
2年	多文化理解
2年	英検Interview Test Practice
2年	英文読解入門
3年	コミュニケーション英語Ⅲ
3年	英語表現Ⅱ
3年	英語演習
3年	higashino special(HEIM&HFOM)
3年	時事英語
3年	受験英語
3年	学び直しの英語
3年	英文読解
3年	英語入試対策
3年	文法・語彙講座

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位	担当者
1年生 特進コースIクラス		外国語	英語コミュニケーション I	必修 4単位	古市観介・Ana Christian
教科書	増進堂「FLEX English Communication I」		副教材等	アルク「ユメタン1」 アルク「ユメジユク」	
授業のねらい	①最低限の単語や熟語と文法および基本的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。				
学習上の留意点	①復習を大事にすること。授業後に復習しないと英語は伸びません。 ②復習は音源を使って行います。読み込んだ文章を多聴、音読しましょう。 ※4～5月にかけてこれまでの学習の復習を行う時間を設けます。				
評価方法	年5回の定期試験、及び単語テストなどの日常の小テストを総合的に加味して評価をする。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	考査	単元	学習目標		
1 学 期	中間	Lesson1 Behind Kumamon Lesson2 Hacking Your Brain	<ul style="list-style-type: none"> ・「くまモン」とは、どんなキャラクターなのかを理解させる ・受け身、to不定詞、動名詞の表現を理解させる ・“in the zone”とは、どういったことなのかを読み取らせる ・進行形、間接疑問、分詞の表現を理解させる 		
		Lesson3 It's Always Sunny in Space Lesson4 Malala: Fighting for Women's Rights	<ul style="list-style-type: none"> ・SSPS計画とは、どのような計画かを理解させる ・助動詞、名詞＋分詞句、現在完了の表現を理解させる ・マララの故郷で起きた出来事について理解させる ・関係代名詞、過去完了、関係代名詞whatの表現を理解させる 		
2 学 期	中間	Lesson5 Mount Fuji Lesson6 Donald Keene and His Love of Japan	<ul style="list-style-type: none"> ・富士山へ登るのは、どのような歴史的な背景があったかを読み取らせる ・同格that、原形不定詞、形式主語itの表現を理解させる ・キーンと日本文学との出会いについて読み取らせる ・強調構文、受け身の進行形、付帯状況の表現を理解させる 		
		Lesson7 Virtual Water Lesson8 Wearable Robots May Change Our Life	<ul style="list-style-type: none"> ・日本が仮想水を多く使用しているその背景を理解させる ・関係代名詞の非制限用法、関係副詞の表現を理解させる ・日本の出生率が低下することで、どのような問題が起こりうるか考えさせる ・仮定法過去、仮定法過去完了、関係副詞の表現を理解させる 		
3 学 期	学年末	Lesson9 Biomimicry-Inspired by Nature Lesson10 "His Holiness the 14th Dalai Lama" Reading1	<ul style="list-style-type: none"> ・「バイオミクリー」とは何かを読み取らせる ・SVOC(分詞)、分詞構文の表現を理解させる ・ダライ・ラマ14世は世界でどのように知られているか読み取らせる ・部分否定、複合関係代名詞の表現を理解させる <p>総まとめ</p>		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースSクラス		外国語	英語コミュニケーション I	必修	4単位	坂本一太・Safu Joseph Somuah
教科書	数研出版「BLUE MARBLE English Communication I」		副教材等	旺文社「英単語ターゲット1200改訂版」 いっぴいな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい	① 単語・熟語、および文法・構文の学習を通じ、英文読解の基礎力を身に着ける。 ② 英文読解を通じて、文章の背景知識を身に着け、教養を深める足掛かりとする。 ③ 授業内のペアワークや音源を用いた復習を通じて、英文の音読を習慣化する。					
学習上の留意点	① 中学校までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ② 英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かす」ながら、学習に励むこと。 ③ 遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。					
評価方法	年5回の定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson1 Friendships in the Digital Age ※4～5月にかけてこれまでの学習の復習を行う時間を設けます。 Lesson2 Expos: Past, Present, and Future		・デジタル時代における人とのかかわり方を理解する 【英語の語順 I (文型①)】 ・万国博覧会の役割の変化を理解する 【動詞の形 I (時制)】		
	期末	Lesson3 The Fascinating World of a Professional Storyteller Lesson4 Changing Behavior in Unique Ways		・講談の魅力と、旭堂南春のメッセージを理解する 【動詞の形 II (助動詞・態)】 ・人々の行動を変え、社会を向上させる仕掛けを理解する 【動詞の形 III (準動詞①)】		
2 学 期	中間	Lesson5 A Journey to Peace Lesson6 Humans Evolve with Measurements		・ルイズの経験と教育への理念を理解する 【英語の語順 II (文型②・準動詞②)】 ・単位が人類の発展に果たした役割を理解する 【英語の語順 III (関係代名詞)】		
	期末	Lesson7 Bio-logging: Discovering Animals' Secrets Lesson8 What to Do with Too Many Tourists		・バイオリギングが動物研究に果たす役割を理解する 【英語の語順 IV (関係副詞)】 ・オーバーツーリズムの問題と観光地の取り組みを理解する 【動詞の形 IV (仮定法)】		
3 学 期	学年末	Lesson9 Surviving in the Information Age		・情報を適切に扱う方法を理解する		
		Lesson10 The Spirit of Zen: Less Is More まとめ		・禅の精神と、現代の世界における影響を理解する ・学習内容の総復習		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位	担当者
1年生 進学コースAクラス		外国語	英語コミュニケーション I 必修	4単位	井上直美・関京太・高坂直美・手塚政世・ Safo Joseph Somuah・Ana Christian
教科書	開隆堂「Ambition English Communication I」		副教材等	開隆堂「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATION WORKBOOK」 桐原書店「データベース3300 基本英単語・熟語」 桐原書店「データベース3300準拠 書いて覚える英単語ノート」	
授業のねらい	①日常的・社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて伝えることができること。 ②聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて話して伝えることができる。				
学習上の留意点	言語や文化についての幅広い知識や教養を身に付け、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えること。				
評価方法	年5回(1学期中間・期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度等を総合的に評価する。また、ネイティブ教員が週1時間の授業(OC)の取り組み、テスト点なども加味して評価をつける。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	考査	単元	学習目標		
1 学 期	中間	Lesson 1 The Amazing Scenery ※4～5月にかけてこれまでの学習の復習を行う時間を設けます。 Lesson 2 The Mysterious History of Chocolate	自然の大切さや環境の保全に寄与する態度を養う。 英語の構文(SV SVC SVO SVOO SVOC) チョコレートの歴史から世界と日本の食文化にふれることで幅広い知識を身につけ、真理を求める態度を養う。 英語の構文[SVO (that節)], [比較]		
	期末	Lesson 3 The Secrets of Top Athletes Lesson 4 Evolving Airplanes	アメリカのスポーツに対する考え方にふれ理解を深める。 現在完了形, 現在完了進行形, 過去完了形 航空機の歴史や航空機の発展を支える環境にふれることで、幅広い知識と教養を身に付ける。 助動詞、受動態、助動詞＋受動態		
2 学 期	中間	Lesson 5 The Symbol of Peace Lesson 6 Serendipity	他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。 動名詞、不定詞、形式主語 ふとした偶然をきっかけに予想外のものを見出す「セレンディピティ」についてふれる 分詞の後置修飾、知覚動詞、使役動詞		
	期末	Lesson 7 The Secrets Hidden in Vermeer's Works Lesson 8 Endangered Species in the World	ラエルメールの作品が多くの人を魅了しつづけている秘密にふれる。 関係代名詞(主格)、関係代名詞(目的格)、関係代名詞(所有格) 絶滅の危機に瀕している野生動物についての現状にふれる。 前置詞＋関係代名詞、関係副詞、関係詞の非制限用法		
3 学 期	学年末	Lesson 9 The Dream of Special Makeup Lesson 10 Purifying Powder Reading tupera tupera	世界の特殊メイクアップアーティストの生き方や考え方にふれる。 条件を表す副詞節、仮定法過去 水の大切さを痛感したある日本人が困っている途上国を救うための行動についてふれる。 関係代名詞what、強調構文、分詞構文、SVOO(how to ~) 大人の間でも絵本の人気がある理由や、最も好きな絵本などについて書かれた内容について、書き手の意図、概要や要点を捉える。		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースIクラス		外国語	論理・表現 I	必修	2単位	CHAN WING KIT
教科書	増進堂「MAINSTREAM English Logic and Expression I」		副教材等	アルク「ユメタン1」「ユメタンジユク」		
授業のねらい	情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を伸ばすとともに、この能力を活用して主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。					
学習上の留意点	気持ちを伝えあうことの楽しさや言葉の大切さを実感しながら粘り強く学習に取り組み、問題解決の過程を振り返って改善しようとする態度を身に着けているか、自ら英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を身に着けているかを評価するので、積極的な姿勢で授業に参加すること。					
評価方法	定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	lesson.1	文の要素について理解し、英語で自己紹介の文が書ける			
		lesson.2	現在形の性質を理解し、好きな音楽について英語で書ける			
		lesson.3	過去形の性質を理解し、大切なものについて英語で話せる			
	期末	lesson.4	未来を表す表現を学び、週末の予定を英語で話せる			
		lesson.5	進行形の働きを理解し、クラブ活動について英語で話せる			
		lesson.6	現在完了形を理解し、クラブ活動について英語で話せる			
2 学 期	中間	lesson.7	過去完了形を理解し、夏休みの計画について英語で話せる			
		lesson.8	動名詞を理解し、学校行事について英語で話せる			
lesson.9		不定詞を理解し、けがや病気、健康について英語で話せる				
	期末	lesson.10	分詞を理解し、おすすめの場所について英語で話せる			
		lesson.11	比較を理解し、夏と冬のどちらがよいかについて英語で話せる			
		lesson.12	助動詞を理解し、本物の犬とロボットの犬のどちらがよいかについて英語で話せる			
3 学 期	学年末	lesson.13	受け身を理解し、書道を選択科目にすべきか英語で話せる			
		lesson.14	仮定法を理解し、おすすめ本について英語でレビューを書ける			
		lesson.15	関係代名詞を理解し、ボランティアについて書ける			
		lesson.16	接続詞を理解し、外国人におすすめの日本食を紹介する			
		lesson.17	否定の働きを理解し、ゴミ削減について書ける			

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースSクラス		外国語	論理・表現 I	必修	3単位	古市観介
教科書	啓林館 「Vision Quest English Logic and Expression I Advanced」		副教材等	旺文社 「英単語ターゲット1200改訂版」 いっぴいな 「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい	① 教科書の英文の暗記に終始せず、多様な英文を作る語彙力と表現力を身に着ける。 ② 実際に使われる場面をイメージし、論理的に英文を組み立てる力を身に着ける。 ③ 授業内のペアワークや音源を用いた復習を通じて、英文の音読を習慣化する。					
学習上の留意点	① 中学校までの英語の得意・不得意に関係なく、日々の予習・授業・復習には全力で取り組むこと。 ② 英文をただ「見る」だけで終えず、「声に出し」「手を動かす」ながら、学習に励むこと。 ③ 遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、その「埋め合わせ」を必ず行うこと。					
評価方法	年5回の定期考査、授業内の小テスト、学期末のノートチェック、授業態度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson1 I want to introduce my new friend.		・応答する/理由を述べる 【文の種類】		
	期末	Lesson2 How about joining our group? Lesson3 I'm planning a day trip this weekend. Lesson4 Have you ever tried it before?		・賛成・反対する/聞き直す 【文型と動詞】 ・激励する・励ます/計画する・予定する 【時制】 ・経験を尋ねる/初めての経験を述べる 【完了形】		
2 学 期	中間	Lesson5 What do you want to do after high school? Lesson6 Did you hear about the new shop?		・許可を求める・依頼する/義務・必要を表す/回想する 【助動詞】 ・原因・影響を表す/喜び・驚きを表す 【受動態】		
	期末	Lesson7 I'm happy to have you with us. Lesson8 What sport do you like playing? Lesson9 Digital media has come a long way.		・感謝する/謝罪する/弁解する 【不定詞】 ・誘う・申し出る/推薦する 【動名詞】 ・描写する/判断の根拠を述べる 【分詞】		
3 学 期	学年末	Lesson10 That's why I decided to go back. Lesson11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones? Lesson12 If I were you, I'd see it as a positive.		・定義する/言い換える/経緯を説明する 【関係詞】 ・提案する/称賛する 【比較】 ・助言を求める・助言する/願望を表す 【仮定法】		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		外国語	論理・表現 I	必修	4単位	高坂直美・関京太・Sasser Jeremy
教科書	啓林館「Vision Quest English Logic and Expression I Standard」		副教材等	啓林館「Vision Quest English Logic and Expression I Standard WorkBook」		
授業のねらい	言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。					
学習上の留意点	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度を高める。 ②身近なことを話題にしたり書いたりして、考えを適切に伝える。 ③言語の運用に関する基礎的な知識を身につけるとともに、背景にある異文化への理解を深める。					
評価方法	年5回(1学期中間・期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson 1.2 (文の種類/文型と動詞) ※4～5月にかけてこれまでの学習の復習を行う時間を設けます。		クラブ活動をクラスに紹介することができる。 文化祭についてパートナーと話し合うことができる。		
	期末	Lesson 3.4 (時制/完了形)		旅行の経験をクラスに話すことができる。 スポーツや音楽の経験をパートナーに伝えることができる。		
2 学 期	中間	Lesson 5.6.7 (助動詞/受動態/不定詞)		パートナーに将来の夢を語るすることができる。 買い物について質問したり、答えたりすることができる。 贈り物の詳細をパートナーに話すことができる。		
	期末	Lesson 8.9.10 (動名詞/分詞/関係詞)		スポーツをすることの利点について発表することができる。 自分自身や性格について発表することができる。 日本の文化や日本人たちについて発表することができる。		
3 学 期	学年末	Lesson 11.12 (比較/仮定法)		国際問題について自分の考えを示すことができる。 日本の社会問題についてクラスに自分の意見を示すことができる。		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースIクラス		外国語	higashino special	必修	2単位	神林慶・古市観介・Ana Christian
教科書	東野オリジナル教科書		副教材等	補助プリント等		
授業のねらい	「Speaking力の基礎トレ」に位置付けられ、授業内で登場した文章がスラスラ言えるようにする					
学習上の留意点	日本語と英語の発音の違いを理解し、意識してトレーニングに努めること					
評価方法	授業態度や、発表など、総合的に評価をする					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson.1		Introduction オリジナル授業のスタイルに慣れる		
		Lesson.2		第1文型		
Lesson.3		第2文型(1)				
Lesson.4		第2文型(2)				
期 末	Lesson.5		Review			
	Lesson.6		第3文型(1)			
	Lesson.7		第3文型(2)・第4文型			
	Lesson.8・Lesson.9・Lesson.10		第5文型・Review・Test			
2 学 期	中間	Lesson.11		受動態(1)		
		Lesson.12		受動態(2)		
Lesson.13		現在完了形(1)				
Lesson.14		現在完了形(2)				
期 末	Lesson.15		現在完了形(3)			
	Lesson.16		Review			
	Lesson.17		形容詞と副詞			
	Lesson.18		比較(1)			
3 学 期	学 年 末	Lesson.19		比較(2)		
		Lesson.20		比較(3)		
		Lesson.21・Lesson.22		Review・Test		
		Lesson.23		数の表現		
		Lesson.24・Lesson.25		不定詞と動名詞		
Lesson.26・Lesson.27		Review・Test				

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位	担当者
2年生 特進コースIクラス		外国語	英語コミュニケーションⅡ	必修 4単位	神林慶・Ana Christian
教科書	増進堂「FLEX English CommunicationⅡ」		副教材等	旺文社「スクランブル英文法・語法Basic 入試頻出項目の精選29章」 アルク「ユメタン2」	
授業のねらい	①大学受験に向けた単語や熟語と文法および応用的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。				
学習上の留意点	①復習を大事にすること。授業後に復習しないと英語は伸びません。 ②多読の際はスラッシュリーディングを意識し、返り読みをしないようにする。 ③日本語を介さず、英語の質問に対して英語で答えるようにする。				
評価方法	年5回(1学期中間・期末、2学期中間・期末、3学期学年末)行われる定期試験授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	考査	単元		学習目標	
1 学 期	中間	Lesson1 Japanese Cherry Blossoms	Lesson2 Pursuit of Dreams	動名詞の意味上の主語 同格(名詞+名詞) 完了形+受け身	助動詞+完了形 不定詞の否定形
	期末	Lesson3 A Small Grain with a Big Impact	Lesson4 Sea Turtles	無生物主語構文 不定詞+完了形 助動詞+受け身	as if S+V 疑問詞+to do 未来進行形
2 学 期	中間	Lesson5 Running a Business for the Poor	Lesson6 The Living Library	二重否定 thereを用いた表現 過去完了進行形	分詞構文の否定 結果を表す不定詞 挿入
	期末	Lesson7 More than just Shelters	Lesson8 Artificial Intelligence	現在完了進行形 be to If S were to V, S would	完了形の分詞構文 未来完了形 仮定法現在
3 学 期	学年末	Lesson9 Sapeur	Lesson10 Larry Page and the Dream of Google	独立分詞構文 倒置	完了形の分詞構文の受け身
		Reading1		いろいろな表現	

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位	担当者
2年生 特進コースSクラス		外国語	英語コミュニケーションⅡ	必修 4単位	神林慶・Safo Joseph Somuah
教科書	開隆堂「Ambition English communicationⅡ」		副教材等	旺文社「英単語ターゲット1400 5改訂版」	
授業のねらい	① 新出の単語・熟語・文法、および基本的な英文構造を学習する。 ② 細かく構造分析をしなくても、英文を読み進められるようになる。 ③ 全文を読んだ後、文章全体の流れ・要旨を英語で説明できるようにする。				
学習上の留意点	① 復習を必ず行うこと。授業に参加するだけでは、英語は伸びません。 ② 多読の際はスラッシュリーディングを意識し、返り読みをしないようにする。				
評価方法	年5回の定期考査、授業内で行う小テスト、授業態度などを総合的に評価する。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	考査	単元	学習目標		
1 学 期	中間	Lesson1. Bird Migration Lesson2. Atlanta: the Past, the Present, and the Future	助動詞＋have＋過去分詞／前置詞＋関係代名詞／形式主語のit＋間接疑問文 関係副詞の非制限用法／to不定詞の否定／関係代名詞の働きをする語(as, than)		
	期末	Lesson3. Intentional Living Lesson4. Amazing Grace	If節中の主語と動詞の省略／be動詞＋to不定詞／同格のthat 関係代名詞what／過去完了進行形／独立不定詞		
2 学 期	中間	Lesson5. Personal Mobility Vehicles Lesson6. Jacinda Ardern	受け身の完了形／受け身の進行形／目的語が動名詞かto不定詞で意味が異なる動詞 名詞のくり返しを避けるthat [those]／肯定文の中のany／no matter＋疑問詞		
	期末	Lesson7. Why Do We Have Sports? Lesson8. Estonia and Its Digital Politics	部分否定／強調構文／S＋V＋O＋Cの受け身 Soと接続詞thatを使った表現／未来完了／未来進行形		
3 学 期	学年末	Lesson9. Judith Kerr	be動詞をはさんだ倒置／if(節)の省略された仮定法(過去分詞)／条件を表すin case		
		Lesson10. Mingei□	複合関係代名詞／独立分詞構文／助動詞のように機能する動詞		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位	担当者
2年生 進学コースAクラス		外国語	英語コミュニケーションⅡ	必修 4単位	安藤綾汰・松浦隆・CHAN WING KIT・Safu Joseph Somuah・Sasser Jeremy・Ana Christian
教科書	開隆堂「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATIONⅡ」		副教材等	開隆堂「APPLAUSE ENGLISH COMMUNICATIONⅡ WORKBOOK」 桐原書店「Data Base 3000」 桐原書店「Data Base 3000 書いて覚える英単語ノート」	
授業のねらい	読む・書く・聞く・話すの4技能を総合的に伸ばすための素地を作る。				
学習上の留意点	復習する習慣を付けること。また、授業ではグループ学習など、アクティブラーニングを実践するため、積極的・主体的に授業に参加してください。英検合格に向け、毎時間5分程度の英検対策を行う。				
評価方法	年5回の定期試験、実力試験、及び単語テストなどの日常の小テストを総合的に加味して評価をする。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	考査	単元	学習目標		
1 学 期	中間	Lesson 1 What is Attractive in Okinawa?	文型(SV/SVO/SVC/SVO(If節)/SVC(分詞)) 沖縄の魅力や自分の好きな場所について話す		
		Lesson 2 What have the Japanese People Been Eating?	文型(SVOO/SVOO(If節)/SVOO(that節)) 日本職について知り、話すことができる		
	期末	Lesson 3 High School Students' Volunteer Activities	現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形 未来進行形		
		Lesson 4 Happy Time in Finland	不定詞、形式主語it、S find it ~that節、S think it ~to不定詞 あなたが訪れてみたい国について話す		
2 学 期	中間	Lesson 5 The Relay of Ahmed's Life	推量を表す助動詞、助動詞+have+過去分詞、would like to~ would rather~(than...)		
		Lesson 6 Artificail Intelligence	SVOC、使役動詞、help+目的語+動詞の原形、知覚動詞 AIについて話す		
	期末	Lesson 7 Bando Is My Second Hometown	比較級+than+any other~、~times+比較級+than... one of +the +最上級、完了不定詞、S+seem to +V		
		Lesson 8 The Great Discovery Out of an Accident	受動態の分詞構文、連続した出来事を表す分詞構文 完了形の分詞構文、付帯状況のwith		
3 学 期	学年末	Lesson 9 Green Land Plan	関係代名詞、県警代名詞(非制限用法)、関係副詞、 関係副詞(非制限用法)		
		Lesson 10 The Mystery of Colors	仮定法過去、仮定法過去完了、ifを用いない仮定法 no matter +疑問詞、複合関係詞		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースSクラス文系		外国語	英語演習	選択必修	2単位	神林慶
教科書	自主教材		副教材等	旺文社「英単語ターゲット1400 5改訂版」 いっずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい		5行程度の中文読解を通して、既習の単語・文法知識を使って、英文を読む力を身に付ける。初見の英文や複雑な英文にも応用できる、「読み方のパターン」を確立する。				
学習上の留意点		中文読解を徹底的に行うことで長文に対する対策や短文読解で培った知識を発展させる。また、予習で分からない点を見つけ、授業で理解し、復習で学習事項を定着させる。予習の段階で、文法書・辞書を徹底的に使い、分からない部分を明確にしておくことが重要です。				
評価方法		授業内の単語テスト、各学期末の評価テスト、日々の授業態度などを総合的に評価する。				
観点別評価		以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	第1章		名詞を修飾する主格の関係代名詞(1)		
		第2章		名詞を修飾する主格の関係代名詞(2)		
		第3章		名詞を修飾する目的格の関係代名詞		
		第5章		名詞を修飾する関係副詞		
	期末	第6章		目的格の関係代名詞の省略		
		第8章		名詞を修飾する現在分詞		
第9章		名詞を修飾する過去分詞				
第12章		同格のthat節				
2 学 期	中間	第13章		関係代名詞whatの名詞節		
		第14章		疑問詞による名詞節		
		第18章		比較表現		
		第19章		仮定法		
	期末	第20章		so ~ that …構文		
		第21章		not only ~ but also …構文		
第22章		等位接続詞の共通関係				
第24章		分詞構文				
3 学 期	学年末	第25章		付帯状況のwith		
		第26章		<S V O + to do> 構文		
		第27章		<S V O + do> 構文		
		第28章		<S V O C> 構文		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コース1クラス		外国語	論理・表現Ⅱ	必修	3単位	神林慶
教科書	増進堂「MAINSTREAM English Logic and ExpressionⅡ」		副教材等	アルク「ユメタン2」		
授業のねらい	論理表現は「英単語・英文法」の2つの力を合わせて磨かれているものである。つまり、表現を磨くためには2つの力を付けることから始まり、そしてその力を運用することを到達点として授業を行う。					
学習上の留意点	自分で運用するには「即座に」単語や文法のルールが書けたり言えたりしなくてはならない。この即座にという言葉キーワードに授業内の様々なトレーニングを主体的に取り組んで欲しい。					
評価方法	年5回の定期試験と日常の取り組み。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson.1		文の要素		
		Lesson.2		時制		
		Lesson.3		過去形と完了形		
		Lesson.4		仮定法		
	期末	Lesson.5		名詞と数		
		Lesson.6		受身		
		Lesson.7		分詞		
		Lesson.8		比較		
2 学 期	中間	Lesson.9		動名詞／SVOC		
		Lesson.10		関係詞／thatの用法		
		Lesson.11		否定／不定詞		
		Lesson.12		分詞構文／譲歩の表現		
	期末	Lesson.13		無生物主語／itの用法		
		Lesson.14		助動詞／名詞構文		
		Lesson.15		修辭的疑問／譲歩		
		Lesson.16		列挙／強い主張		
3 学 期	学年末	Lesson.17		Cause&Effect／図表の引用		
		Lesson.18		まとめ1		
		Lesson.19		まとめ2		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースSクラス		外国語	論理・表現Ⅱ	必修	3単位	神林慶
教科書	啓林館「Ace Vision Quest English Logic and Expression」		副教材等	いいずな「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい	論理・表現は「英単語・英文法」の2つの力を合わせて磨かれているものである。つまり、表現を磨くためには2つの力を付けることから始まり、そしてその力を運用することを到達点として授業を行う。					
学習上の留意点	自分で運用するには「即座に」単語や文法のルールが書けたり言えたりしなくてはならない。この即座にという言葉キーワードに授業内の様々なトレーニングを主体的に取り組んで欲しい。					
評価方法	授業内試験と日常の取り組み。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson 1 Lesson 2	適切な主語を用いる 適切な動詞を用いる			
	期末	Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5	時を表す 義務・必要・推量を表す 情報を加える(1)			
2 学 期	中間	Lesson 6 Lesson 7	情報を加える(2) 情報を加える(3)			
	期末	Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10	情報を伝える 条件と仮定を表す 数量を表す			
3 学 期	学年末	Lesson 11 Lesson 12	比較を表す 否定を表す			

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		外国語	論理・表現Ⅱ	必修	3単位	松浦隆・塩田志保・ CHAN WING KIT・安藤 綾汰・Ana Christian・井 上直美
教科書	啓林館 「Vision Quest English Expression Ⅱ Hope」		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい	英語表現は語彙力と文法力の2つがバランス良く発達することが必要となる。2つの力を向上させ、そしてその力を運用する力を養うことを目指し、様々な表現力の習得を目指す。					
学習上の留意点	英語でコミュニケーションをとることへの関心・意欲を高め、身近なことを話題として表現し適切にまとめる。言語の運用の基礎知識を身に着けると共に文化的背景の理解にも努める。					
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、課題・提出物、中間・期末ごとに実施する筆記試験で評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Part 1 Lesson 1 「伝統行事がいくつもあるのね。」		主語の決定／見えない主語の発見／主語のit 主語になる名詞句／形式主語／無生物主語		
	期末	Lesson 2 「職業体験はどうだった？」		自動詞と他動詞／SVO／SVOO／SVC／SVOC		
2 学 期	中間	Lesson 3 「話したいことがあるんだ。」 Lesson 4 「航空管制官として働きたいんだ。」		使役動詞／知覚動詞／〈動詞＋O＋to do〉 時制：「～する」／「～している」／「～した」／「～していた」 (現在形から完了形まで)		
	期末	Lesson 5 「そんな経験をもう一度したいわ。」 Lesson 6 「これはカナダのバンクーバーで撮った写真なんだ。」		義務・必要を表す助動詞／推量を表す助動詞 「もし(今)～ならば」／「もし(あの時)～だったなら」 名詞を前から修飾する語句 名詞を後ろから修飾する関係代名詞 / 関係副詞		
3 学 期	学年末	Lesson 7 「携帯電話は私たちの生活になくてはならないもの？」		副詞・副詞句／不定詞や分詞を使った副詞句・副詞節		
		Lesson 8 「犬と猫どっちが好き？」		原級／比較級／最上級／最上級を意味する表現		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コースIクラス		外国語	higashino special	必修	2単位	CHAN WING KIT・古市 観介・Sasser Jeremy
教科書	東野オリジナル教科書		副教材等	補助プリント等		
授業のねらい	「Speaking力の基礎トレ」に位置付けられ、授業内で登場した文章がスラスラ言えるようにする					
学習上の留意点	日本語と英語の発音の違いを理解し、意識してトレーニングに努めること					
評価方法	授業態度や、発表など、総合的に評価をする					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson.11		現在完了(2)		
		Lesson.12		現在完了(3)		
		Lesson.13		形容詞と副詞		
		Review		Lesson11～13		
1 学 期	期末	Lesson.14		比較(1)		
		Lesson.15		比較(2)		
		Lesson.16		比較(3)		
		Review		Lesson14～16		
2 学 期	中間	Lesson.17		数の表現		
		Lesson.18		不定詞(1)と動名詞		
		Lesson.19		不定詞(2)		
		Review		Lesson17～19		
2 学 期	期末	Lesson.20		分詞(1)		
		Lesson.21		分詞(2)		
		Lesson.22		助動詞		
		Review		Lesson20～22		
3 学 期	学年末	Lesson.23		過去完了と未来完了		
		Lesson.24		関係詞(1)		
		Lesson.25		関係詞(2)		
		Review		Lesson23～25		
		Lesson.26		副詞節		
3 学 期	学年末	Lesson.27		itの表現		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 特進コース1クラス		外国語	多文化理解	必修	1単位	松浦隆
教科書	学事出版「地球村への10のステップ ワークノート」		副教材等	(株)世界地図「文化の世界地図 生徒版」		
授業のねらい	1. 世界空間と5,000年の時間軸といった世界を理解する「土台」を体感する。 2. 世界の多様な価値観を大枠で理解する。 3. 戦争や破壊の無い世界をつくるために自分たちで新しい世界作りを考える。					
学習上の留意点	日頃から国内外の出来事に興味・関心を持ち、マスメディアやインターネット、書籍などを通じて情報収集をする習慣をつける。自分なりにすべてのことに対して何らかの見解(ポジション)を持つようにし、それを人に説明できるようにしておく。					
評価方法	各学期末に、筆記試験またはスピーチ、プレゼンテーションを実施する。内容、提出物、日頃のクラスへの貢献度などで総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	導入 No.1 グローバル時代を生きる No.2 地球の大きさを測った男 考査	コースの概要を理解し、学習目的を確認する。 現在の日本と日本を取り巻く世界情勢の正しい理解 古代ギリシャ時代の知の探究と現代日本との比較 ひらめきを生むプロセスについて考察する。			
	期末	No.3 文化が違えばルールも違う 考査	世界を4つの文化コードに分類し、それぞれの特徴や異文化圏の人々との対処法を学ぶ。			
2 学 期	中間	No.4 絹の道、じゃんけんの道 文化祭 考査 No.4 絹の道、じゃんけんの道	人類70億人の価値体系の基盤である、東洋思想 や世界宗教などがシルクロードを通じてどのように広まったかを知る。そこからグローバル化の歴史や多文化理解のヒントを探る			
	期末	No.5 悲劇と偉大な仕事の分かれ道 考査	戦争の歴史を概観し、歴史認識の違いや人種差別問題を考える。又、アンネの日記学習を素材として、記録(ログ)をつけることの重要性を学び、ポートフォリオ指導への橋渡しをする。			
3 学 期	学年末	No.6 スピーチ・ライティング /	スピーチの題材、原稿作成等の効果的な方法を学ぶ。			
		No.7 地球村の新しいルールを作ろう 期末考査	自分が選んだテーマにつき、スピーチを行う 世界平和を実現するため過去の偉大なルールを検証し、ここからの時代にふさわしい人類共通ルールを自分たちで考える。			

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		外国語	英検Interview Test Practice	選択	2単位	Safo Joseph Somuah
教科書	LINGUAL HOUSE 「Basics In Listening by Micheal Rost and Munetsugu Urano」		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい	基本的なリスニングスキルと戦略的な解き方を身に付けさせます。					
学習上の留意点	日頃の授業態度を重視する。また授業内、家庭学習において積極的に音読をすることが大切である。					
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、中間・期末ごとに筆記試験を実施する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	導入、説明 基本知識 英検2次対策	基本説明、必要事項の記入 手紙、名前、電話番号、住所など			
	期末	音声学、ボキャブラリー 音声学、ボキャブラリー	母音と子音の発音 環境音、ヒューマンサウンド、サウンドシークウェンス			
2 学 期	中間	基本的な会話、質問の仕方 買い物で使うフレーズ 指示 英検2次対策 模擬	挨拶、自己紹介、要求、謝罪の表現 イエス・ノークエスチョン 室内での指示			
	期末	復習テスト これまでの復習	個人に関する情報、数字、日時、場所について 復習のための映画鑑賞			
3 学 期	学年末	描写 食と飲み物 復習テストと振り返り	服や姿勢、体格などの描写について 買い物リスト、レシピ、レストラン 描写、計画、助言、順序、選択とお勧めの仕方			

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		外国語	英文読解入門	選択	2単位	安藤綾汰
教科書	桐原書店「Reading Flash Stage2」		副教材等	自主プリント		
授業のねらい	①英語に対する苦手意識をなくし、興味を持って積極的に英語を学ぼうとする姿勢を身につける。 ②素早く英文を読み、量の多い読解問題を解けるようになる。					
学習上の留意点	すぐに力がつくわけではないので、根気よく毎日勉強を続けること。					
評価方法	授業内のテスト、提出物で総合的に評価する					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson 01～04		基本的な文法事項、単語、熟語を学習しつつ、長文読解に慣れる。 長文の内容を理解し、問題を解く方法を身につける。 英語を勉強する習慣について再度確認する。		
	期末	Lesson 05～08		基本的な文法事項、単語、熟語を学習しつつ、長文読解に慣れる。 長文の内容を理解し、問題を解く方法を身につける。		
2 学 期	中間	Lesson 09～12		長文を正確に読み解くスピードを意識して、素早く問題が解けるようになる。 長文中の細かい内容、文法、重要語句を理解できるようになる。		
	期末	Lesson 13～19		長文を正確に読み解くスピードを意識して、素早く問題が解けるようになる。 長文中の細かい内容、文法、重要語句を理解できるようになる。		
3 学 期	学年末	Lesson 20～24		これまでの学習を活かして、2学期よりも素早く正確に長文を読み解き、問題を解くことができる。 長文中の細かい内容、文法、重要語句を理解できるようになる。		

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位	担当者
3年生 特進コースIクラス		外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	必修 4単位	榎本 昶彰・Sasser Jeremy
教科書	増進堂「FLEX English CommunicationⅢ」		副教材等	旺文社「スクランブル英文法・語法Basic 入試頻出項目の精選29章」 アルク「ユメタン2」	
授業のねらい	①大学受験に向けた単語や熟語と文法および応用的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。				
学習上の留意点	①復習を大事にすること。授業後に復習しないと英語は伸びません。 ②多読の際はスラッシュリーディングを意識し、返り読みをしないようにする。 ③日本語を介さず、英語の質問に対して英語で答えるようにする。				
評価方法	定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。				
学習計画		単元	学習目標		
1 学 期	中間	Lesson1 Mr. Price Meets Jakuchū Lesson2 Cleaning the Oceans: One Young Man's Dream	倒置と不定詞の意味上の主語 分詞構文と仮定法		
	期末	Lesson3 The Value of Practice: Ten Thousand Hours to Mastery Lesson4 In Defense of Zoos	過去完了や省略 前置詞＋関係代名詞, 部分否定・全否定		
2 学 期	中間	Lesson5 Facing Your Marshmallow Problem Lesson6 Eco-friendly Farming of Bluefin Tuna	関係代名詞whatと名詞構文 強調構文, 句や節を先行詞とするwhichの表現		
	期末	Lesson7 Lessons from History of Easter Island Lesson8 Life Without Magic	関係副詞, 助動詞＋have＋過去分詞の表現 不定詞の結果用法, 関係副詞の非制限用法		
3 学 期	学年末				

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位	担当者
3年生 特進コースSクラス		外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	必修 4単位	榎本 昶彰・古市 叡介・ Safo Joseph Somuah
教科書	数研出版 「Revised BIG DIPPERⅢ」		副教材等	旺文社 「スクランブル BASIC」 アルク 「ユメタン1」	
授業のねらい	①最低限の単語や熟語と文法および基本的な英文の構造を学習する。②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。				
学習上の留意点	①復習を大事にすること。授業後に復習しないと英語は伸びません。 ②復習は音源を使って行います。読み込んだ文章を多聴、音読しましょう。				
評価方法	定期試験、実力試験、及び単語テストなどの日常の小テストを総合的に加味して評価をする。				
学習計画		単元	学習目標		
1 学 期	中間	Lesson1 The History of <i>Ekiben</i> Lesson2 Three Tips for Maintaining a Conversation Lesson6 After the Flowers Lesson8 <i>Kintsugi</i>	駅弁の歴史を通して、日本の文化や郷土を愛する心を養う。 会話を続けるコツを学習する。 生物の基本的知識を習得し、自然を尊ぶ態度を養う。 「金継ぎ」という伝統技術を知り、文化を尊重する態度を養う。		
	期末	Lesson9 Alfred Nobel: A Person of Peace Lesson11 Keys to Winning Lesson12 She Sells Seashells by the Seashore Lesson13 A New Orchestra and a New Harmony	社会の発展に寄与する方法に思いを巡らせる。 準備努力を重んずる態度を養う。 勤労を重んずる態度を養う。 社会の発展に寄与する態度を養う。		
2 学 期	中間	Lesson17 The Shoe That Grows Lesson20 Endangered Languages	アフリカの子どもたちの直面する問題と具体例な解決方法を読む。 世界には消滅の危機にある言語が数多くあることを知り、各地域の伝統と文化を尊重する態度を養う。		
	期末	Lesson22 歴史・人権 Lesson23 自然・環境	奴隷解放や女性の地位向上のために活動したハリエット・タブマンの生涯を知り、正義と責任、人間の平等について考え、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。 蜂群崩壊症候群が生態系に与える影響を知り、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。		
3 学 期	学年末				

2023年度 シラバス

対象	教科	科目名	単位	担当者
3年生 進学コースAクラス	外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	必修 4単位	坂本一太・手塚政世・井上直美・星雅之・ Safo Joseph Somuah・Ana Christian・ Sasser Jeremy
教科書	東京書籍 「Power On English Comunication Ⅲ」		副教材等	東京書籍 「Power On English Comunication Ⅲ ワークブック」 桐原書店 「Data Base 3000」 桐原書店 「Data Base 3000 書いて覚える英単語ノート」
授業のねらい	①新出単語や熟語と文法および基本的な英文の構造を学習する。 ②細かく構造分析をしなくても英文が読み進められるようになる。 ③全文を読んだ後、文章全体の流れや要旨を英語で説明できるようにする。			
学習上の留意点	復習する習慣を付けること。また、授業ではグループ学習など、アクティブラーニングを 実践するため、積極的・主体的に授業に参加するように。進路実現につながるよう、 英検取得に向けて授業内でも対策を行う。またData Base 3000も引き続き単語テストを実施する。			
評価方法	定期試験、実力試験、及び単語テストなどの日常の小テストを総合的に加味して評価をする。また、ネ イティブ教員によるオーラルコミュニケーションの授業での取り組み、提出物、テストなども加味して総 合的に評価する。			
学習計画	考査	単元	学習目標	
1 学 期	中間	Lesson 1 Emoji as a Universal “Language” Lesson 2 How Was the Olympic Symbol Created?	文の主語と述語動詞の働きに着目しながら、絵文字の使われ 方について、的確に読み取ることができる。 パラグラフの構成と話題文、支持文、結論文の役割に着目しな がら、オリンピックの旗の意味について、的確に読み取ることが できる。	
	期末	Lesson 3 Zoo Dentists Lesson 4 The First Four Minutes of an Encounter 出会いの最初の4分	序論、本論、結論の3部から成る文章の構成に着目しながら、 動物の歯科医が担う責任や役割についての的確に読み取ること ができる。 列挙を示すディスコースマーカーの使い方に着目しながら、初 対面の人と会話する際の最初の4分の重要性についての的確に 読み取ることができる。	
2 学 期	中間	Lesson 5 A Promising Surfer from Japan Lesson 6 Where Does Halloween Come from?	因果関係を示すディスコースマーカーの使い方に着目しなが ら、プロサーファー、大原洋人選手についての的確に読み取るこ とができる。 ハロウィーンの起源と歴史について聞いたり読んだりしたことを 理解したり、要点や詳細をとらえたりすることができる。	
	期末	Lesson 7 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think Lesson 8 A Nature Photographer in Alaska	イグ・ノーベル賞を受賞した研究の内容と賞の意義について聞 いたり読んだりしたことを理解したり、要点や詳細をとらえたり することができる。 写真家、松本紀生さんの生き方について聞いたり読んだりした ことを理解したり、要点や詳細をとらえたりすることができる。	
3 学 期	学年末			

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースIクラス		外国語	英語表現Ⅱ	必修	2単位	榎本尭彰
教科書	チアーズ「ATLANTIS English Expression II」		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい	①大学受験に対応しうる文法知識を身に着ける ②記述問題に対応しうる表現力をつける					
学習上の留意点	自分で運用するには「即座に」単語や文法のルールが書けたり言えたりしなくてはならない。 この即座にという言葉キーワードに授業内の様々なトレーニングを主体的に取り組んで欲しい。					
評価方法	定期試験、授業内で行う小テスト、授業態度を総合的に評価する。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	lesson.1		形容詞、副詞、前置詞を用いて文を1つにつなげる		
		lesson.2		現在分詞、過去分詞を用いて文を1つにつなげる		
		lesson.3		比較級 - as ~ as		
		lesson.4		最上級		
1 学 期	期末	lesson.5		動名詞句		
		lesson.6		第1条件節 - if / will		
		lesson.7		rather - What would you rather do?		
		lesson.8		if only		
2 学 期	中間	lesson.9		量をあらわす副詞		
		lesson.10		現在完了形 - 完了用法 / 最近の出来事		
		lesson.11		現在完了形経験		
		lesson.12		現在完了形継続 for / since		
2 学 期	期末	lesson.13		現在完了進行形		
		lesson.14		過去完了進行形		
		lesson.15		had (I) + 過去完了形		
		lesson.16		if only (I) + 過去完了形 / too busy ~ing + 不定詞		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス		外国語	英語表現Ⅱ	必修	2単位	榎本 昶彰
教科書	啓林館 「Vision Quest English Expression Ⅱ Hope」		副教材等	いっずな 「英文法・語法 Engage 3rd Edition」		
授業のねらい	① 文法単元ごとの学習を通じ、語彙・文法・語法の知識を蓄える。(主に1学期) ② 問題演習を通じ、知識の抜けを確認し、解答力を高める。(主に2学期)					
学習上の留意点	① 2年次までの得意・不得意に関わらず、日々の予習・授業・復習には、全力で取り組むこと。 ② 共通テストおよび一般入試に向けた、「超」重要事項を毎回確認していくため、遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、「穴を埋める」努力を必ずすること。					
評価方法	年4回の定期考査、授業内の小テスト、授業態度などを総合的に評価する。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	導入(共通テストと英文法) [既習文法単元の復習(1)] ① 時制 ② 準動詞 ③ 関係詞		文法・語法を学習する意義を理解する。 既習単元のうち、特に重要なものを再確認する。 ① 基本時制、時制の一致、時・条件の副詞節 ② 不定詞vs.動名詞、分詞の二用法 ③ 関係代名詞vs.関係副詞、what、非制限用法		
	期末	[既習文法単元の復習(2)] ④ 比較 ⑤ 仮定法 ⑥ その他重要構文		既習単元のうち、特に重要なものを再確認する。 ④ 3つの級、間違えやすい重要表現 ⑤ 基本2タイプ、ifの省略と倒置、ifのない仮定法 ⑥ 否定に関する表現、O to do vs. O do		
2 学 期	中間	[単元別問題演習(1)] ① 時制・受動態・助動詞など ② 不定詞・動名詞・分詞など ③ 関係詞・接続詞など ④ 比較、形容詞・副詞など		知識の抜けを演習形式で、補強する。 ① 動詞の「形」を意識する習慣をつける。 ② 各用法を確認し、関連表現の知識を習得する。 ③ それぞれのはたらきを再確認する。 ④ 品詞を再度意識し、注意点を整理する。		
	期末	[単元別問題演習(2)] ⑤ 否定・疑問・強調・倒置 [設問形式別問題演習] ① 空所補充問題 ② 並べ替え問題 ③ 共通語補充問題など		知識の抜けを演習形式で、補強する。 ⑤ 否定語の用法、語順等の注意事項を再確認する。 全単元ランダムの問題演習で、実践力を高める。 * 「何となく」を排し、「どこを見て」「どう判断するか」という解答の視点を習得する。		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	英語表現Ⅱ	必修	2単位	関京太・坂本一太・安藤綾汰
教科書	啓林館「Vision Quest English Expression II Hope」		副教材等	啓林館「Vision Quest English Expression II Hope Workbook」 桐原書店「Future Globe 表現のための英文法・語法問題」		
授業のねらい	英語表現は語彙力と文法力の2つがバランス良く発達することが必要となる。2つの力を向上させ、そしてその力を運用する力を養うことを目指し、様々な表現力の習得を目指す。					
学習上の留意点	英語でコミュニケーションをとることへの関心・意欲を高め、身近なことを話題として表現し適切にまとめる。言語の運用の基礎知識を身に着けると共に文化的背景の理解にも努める。また、授業内では桐原書店「Future Globe」の副教材の確認テストを実施していく。					
評価方法	定期試験、授業内で行う小テスト、提出物、授業態度を総合的に評価する。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Part1 Lesson5 Part1 Lesson6 (Future Globe 1-108)		助動詞・仮定法 修飾語を加える①不定詞・関係詞 ※VisionQuest English Expression II Hope workbook 同範囲		
	期末	Grammar Focus③ Part1 Lesson7 (Future Globe 109-219)		受動態 修飾語②不定詞・副詞節 ※VisionQuest English Expression II Hope workbook 同範囲		
2 学 期	中間	Part1 Lesson8 Grammar Focus 4 Grammar Focus 5 (Future Globe 220-318)		比較(原級・比較級・最上級) 前置詞 否定表現の使い方 ※VisionQuest English Expression II Hope workbook 同範囲		
	期末	Part1 Lesson3 総復習 総復習 (Future Globe 319-413)		使役動詞・知覚動詞・不定詞の意味上の主語 ※Vision Quest English Expression II Hope workbook 同範囲		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースIクラス		外国語	英語演習	必修	3単位	榎本尭彰
教科書	自主教材		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい	① 共通テストの長文に対応しうる速読力を身に着ける。 ② CEFR B1レベルの語彙を確実に身に着ける。					
学習上の留意点	① 読解中で分からなかった語彙・文法はその都度復習し定着させること。 ② 精読は意識せず、要点を掴みながら読む多読を意識すること。					
評価方法	学期末の評価テスト・授業態度で評価する。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	英文多読演習 ① 問題ごとの特徴把握 ② 修飾関係の読み取り 英検対策		① データ・旅行日程の読み取りなど問題の特徴を把握し注意して読むべきポイントを整理する。 ② 文の骨格(SV)の把握を正しくできるようになる。 英検対策として、「速読」演習を授業冒頭に取り入れる。		
	期末	読解問題演習(記述式) 読解問題演習(マーク式)		6月下旬に受験する進研記述模試に向けて、 ① 答えの探し方(どの表現をヒントにするか)を確認する。 ② 答えのまとめ方(字数による視点の違い)を習得する。 河合マーク模試や夏休みの学習に向けて、 ① 答えの探し方と選択肢の選び方を習得する。 ② 「記述式よりマーク式の方が簡単」という認識を改める。		
2 学 期	中間	過去問演習(資料読解など) 過去問演習(内容説明問題など)		共通テスト・私大一般		
	期末	過去問演習(文法問題) 過去問演習(選択・記述問題)		共通テスト・私大一般		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス文系		外国語	英語演習	必修	2単位	坂本一太
教科書	自主教材		副教材等	アルク「ユメタン1」「ユメタン2」 旺文社「スクランブル英文法・語法Basic 入試頻出項目の精選29章」		
授業のねらい		① 英文を正確かつ速く「読む力」を身に着ける。(主に1学期) ② 問題の演習経験を蓄え、初見の問題にも動じない「解く力」を身に着ける。(主に2学期)				
学習上の留意点		① 2年次までの得意・不得意に関わらず、日々の予習・授業・復習には、全力で取り組むこと。 ② 共通テストおよび一般入試を突破するのに、必要な「視点」「考え方」を毎回紹介していくため、遅刻・欠席をしないこと。仮に、遅刻・欠席をした場合、「穴を埋める」努力を必ずすること。				
評価方法		学期末の評価テスト、授業内の小テスト、授業態度などを総合的に評価する。				
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	中間	導入(大学入試と英文読解) 【英文精読演習】 テーマ①:SVを把握する テーマ②:修飾関係を読み解く	大学入試における英文読解の比重を知り、その対策として、「読む力」と「解く力」の重要性を理解する。 ① 主語になれるものとなれないもの、動詞になれる形となれない形を整理・習得する。 ② 修飾する語句を正確に読み取り、文の骨格(SV)の把握を正しくできるようになる。			
	期末	【読解問題演習】 英文のテーマは以下を予定 ① 文化・人間 ② 言語・コミュニケーション ③ 自然・科学 ④ 社会・経済	「読む」力を土台に、「解く」ために何が必要かを意識する。類題を想定し、背景知識・関連語彙の習得も目標とする。 ※ 6月の共通テスト模試、7月の総合学力模試を見据え、マーク式・記述式どちらの演習も行う。			
2 学 期	中間	【読解問題演習】 英文のテーマは以下を予定 ⑤ 情報・科学技術 ⑥ 医療・健康 ⑦ 地球環境	「読む」力を土台に、「解く」ために何が必要かを意識する。類題を想定し、背景知識・関連語彙の習得も目標とする。 ※ 9月の共通テスト模試、10月の総合学力模試を見据え、マーク式・記述式どちらの演習も行う。			
	期末	【過去問演習】 大東亜帝国～日東駒専が中心 以下の設問形式を主に扱う予定 ① 空所補充問題 ② 内容一致問題 ③ 内容説明問題	受験を予定している大学の過去問を演習する中で、「解く」ことに加え、「点数を取る」ための視点を意識する。 ※ 受験者の志望状況に応じて、取り上げる問題を、変更する可能性がある。			
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	英語演習	必修	2単位	手塚政世・星雅之・ CHAN WING KIT
教科書	自主教材		副教材等	自主教材		
授業のねらい	英文の構造・基本を理解し直すことで英語の理解を勧めていく。 例文の暗唱等を行い、基本的な英文の構造を修得する。					
学習上の留意点	辞書を必ず持ってくること。予習・復習も必ず行い、毎週の課題を必ず提出すること。					
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、課題・提出物、中間・期末ごとに実施する筆記試験で評価する。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	(1)平叙文・疑問文・命令文・感嘆文 (2)疑問文・命令文 (3)基本時制		様々な文の形を理解し、英文の文法的構造を理解する。 基本時制と進行形の違いの理解等。		
	期末	(4)完了時制 (5)助動詞 (6)受動態		現在完了・過去完了と各進行形の時制の理解。 各時制での助動詞の働き。 能動態と受動態の違いの理解。		
2 学 期	中間	(7)不定詞 (8)動名詞 (9)分詞		準動詞の理解を深める。 名詞・形容詞・副詞としての働きの理解。		
	期末	(10)関係代名詞 (11)話法		形容詞節の理解、限定用法・非制限用法の理解。 時制の理解を深める(時制の一致)。		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースIクラス		外国語	higashino special	必修	2単位	榎本昶彰・Ana Christian
教科書	東野オリジナル教科書		副教材等	補助プリント等		
授業のねらい	「Speaking力の基礎トレ」に位置付けられ、授業内で登場した文章がスラスラ言えるようにする。					
学習上の留意点	日本語と英語の発音の違いを理解し、意識してトレーニングに努めること。					
評価方法	授業態度や、発表など、総合的に評価をする。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	Lesson.28		名詞節		
		Lesson.29		仮定法(1)		
Lesson.30		仮定法(2)				
Review		Lesson28~30				
期 末	期 末	Lesson.31		仮定法現在		
		Lesson.32		代名詞		
		Lesson.33		否定		
		Review		Lesson31~33		
2 学 期	中間	Lesson.34		強調		
		Lesson.35		語順		
Lesson.36		さまざまな日常表現(1)				
Review		Lesson34~36				
期 末	期 末	Lesson.37		さまざまな日常表現(2)		
		Lesson.38		さまざまな日常表現(3)		
		Lesson.39.40		さまざまな日常表現(4)(5)		
		Review		Lesson37~40		
3 学 期	学 年 末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースクラス		外国語	時事英語	必修	1単位	Ana Christian
教科書	自主教材(英字新聞などのコピーを使用予定)		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい	英字新聞などの資料に慣れ親しみ、それらの読解のノウハウの習得を目指す。また、現在の社会で起こっている様々なことに興味・関心を持ったうえで、メディア・リテラシーを身に付ける。					
学習上の留意点	日本語の背景知識および基本的な政治・経済、歴史の知識の増強も同時に各人で進めること。また、家庭学習において音読、リスニング、問題演習などの予習・復習は必須となる。					
評価方法	授業内テストを期末に1回(または学期に2回)実施する。 また、提出物や授業への取り組みも平常点として加味する。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	英字新聞の特徴について 健康 文化 / 考査		英字新聞特有の表記方法などについて解説する。 Headline、Lead、Body(本文)などの構成および読解の際の注意点などについて学ぶ。 テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 ニュースソース(情報源)について学ぶ		
	期末	科学技術 医療 観光 考査		テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 COVID-19を中心に最新の医療について知る オリンピックなどインバウンドや観光立国としての戦略について		
2 学 期	中間	交通 経済 宇宙 スポーツ / 考査		テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 基本的な経済の仕組みやマネーの知識を学ぶ 宇宙開発の最先端事情について学ぶ		
	期末	政治 歴史Ⅰ 歴史Ⅱ 考査		テーマに沿った語彙習得と背景知識獲得 米中対立とその影響等について学ぶ 自分たちのルールを知る大切さについて学ぶ		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 特進コースSクラス		外国語	受験英語	選択	2単位	神林慶
教科書	自主教材		副教材等	旺文社「スクランブル BASIC」 アルク「ユメタン1」		
授業のねらい	大学入試に向けて中堅私立大学の過去問題を解くのに必要な「速読力」を身につける/話せる英語を目標に音読の練習を行う					
学習上の留意点	毎回の授業に向けて予習復習を必ず行うこと					
評価方法	授業内テスト及び提出物にて総合的に判断する					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	中間	オリエンテーション 速読の基礎を学ぶ		授業の目的、内容を説明 一学期をかけて速読の基礎を学ぶ。		
	期末	トレーニング 速読を入試に活かす		副教材を用いてのトレーニング。 学んだ速読を試験にどう使うかを学ぶ。		
2 学 期	中間	問題演習 問題演習		共通テスト等の基礎的な文章を用いて実践的に点数に結びつけるための演習を行う 二学期前半は大問毎に問題を解いていく		
	期末	入試問題演習 入試問題演習		私立大学の過去問題を用いて問題演習を行う 扱うのは日東駒専レベルの過去問とし、合格点を目標とする		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	学び直しの英語	選択	2単位	星雅之
教科書	学研プラス「高校英文法をひとつひとつわかりやすく。」		副教材等	自主プリント		
授業のねらい	中学校および高校で学習した基本的な文法を復習し、英文の基本的構造を理解する。比較的平易な英文をとおり、基礎的な読解力・表現力を養う。					
学習上の留意点	辞書を必ず持ってくること。予習・復習も必ず行い、毎週の課題を必ず提出すること。					
評価方法	日頃の授業態度、出欠席、小テスト、課題・提出物、中間・期末ごとに実施する筆記試験で評価する。					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	オリエンテーション 英語の基本ルール 01～05 5文型		英語の基本学習作法について学ぶ 中学校英語の総復習 基本5文型について学ぶ (自・他動詞、目的語、補語など)		
	期末	06～17 時制 18～23 態・助動詞		現在・過去・未来・完了・進行形について学ぶ 能動態と受動態、助動詞の用法について学ぶ		
2 学 期	中間	24～30 不定詞・動名詞 31～38 分詞・仮定法		不定詞と動名詞の用法について学ぶ 現在分詞・過去分詞および仮定法について学ぶ		
	期末	39～49 比較・関係詞 50～55 接続詞・その他		比較の原級・比較級・最上級 および関係詞の用法について学ぶ 名詞および副詞のかたまりをつくる接続詞について学ぶ		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	英文読解	選択	2単位	関京太
教科書	自主教材		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい		文法項目を確認し最初は比較的短い長文読解を中心としながら、簡単な英文の速読を訓練していきます。その後、300語程度の長文の精読を通して英語力を高めます。				
学習上の留意点		辞書を用意すること。				
評価方法		日頃の授業態度、出欠席、小テスト、中間・期末ごとに筆記試験を実施する。				
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	オリエンテーション 文法の基礎を学ぶ		授業の目的、内容を説明 一学期をかけて文法の基礎を学ぶ。		
	期末	文法の基礎を学ぶ		一学期をかけて文法の基礎を学ぶ。		
2 学 期	中間	問題演習 問題演習		比較的短い長文を用いての読解トレーニング。 比較的短い長文を用いての読解トレーニング。		
	期末	問題演習 問題演習		300語程度の長文を用いての読解トレーニング。 300語程度の長文を用いての読解トレーニング。		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	英語入試対策	選択	2単位	古市勲介
教科書	赤本など		副教材等	必要に応じてプリントを配布する。		
授業のねらい	入試対策全般					
学習上の留意点	読解力や文法力を含め、総合力を4技能バランスよく力をつける。					
評価方法	小テスト、授業内の取り組み(プリント)					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	英検2級の問題を扱い、英検の対策を行う。 時制・助動詞・受動態・動名詞 不定詞など		総合力をつけるためにプリントによる訓練を行う。 多量即解などの訓練 様々な問題に取り組んで、慣れさせる。		
	期末	仮定法・話法・分詞など イディオムの特訓 語彙力をつける。		様々な問題に取り組んで、慣れさせる。 表現練習 英検のライティングに挑戦。		
2 学 期	中間	個々の入試問題に挑戦させる。 帝京大学の入試問題 様々な大学の赤本で演習。		演習を繰り返し、問題に慣れる。		
	期末	個々の入試問題に挑戦させる。 様々な大学の赤本で演習。		演習を繰り返し、問題に慣れる。		
3 学 期	学年末					

2023年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		外国語	文法・語彙講座	選択	2単位	井上直美
教科書	増進堂「マスターノート」		副教材等	三省堂「クラウン チャンクで英単語 Basic」		
授業のねらい	入試(総合型・推薦等)で出題されそうな問題(英検3級~2級程度)に対応出来る力を養う					
学習上の留意点	文法参考書・辞書(必須)を読み込むなど自学自習の姿勢が必須					
評価方法	小テスト、学期ごと定期テスト、出欠席および日頃の授業への取り組み					
学習計画	考査	単元		学習目標		
1 学 期	中間	文法: マスターノート 単元 1~9 語彙: チャンク Level 0	文法: マスターノート 単元 10~17 語彙: チャンク Level 1 step1-4	現在形(be動詞、一般動詞)、助動詞 中学基礎単語の復習	疑問文、命令文、過去形(be動詞、一般動詞)、進行形 中学必修単語の復習	
	期末	文法: マスターノート 単元 18~24 語彙: チャンク Level 1 step 5-8	文法: マスターノート 単元 25~30 語彙: チャンク Level 2 step 9-12	比較、現在完了、5文型 中学必修単語の復習	受動態、準動詞、接続詞 高校基礎単語の復習	
2 学 期	中間	文法: マスターノート 単元 31~34 語彙: チャンク Level 2 step 13-15	文法: マスターノート 単元 35~39 語彙: チャンク 多義語、イディオム	関係代名詞 高校基礎単語の復習	句、節を指すit、過去完了、関係副詞、仮定法、分詞構文 多義語、イディオム	
	期末	文法復習		既習事項の復習		
3 学 期	学年末					